

教えて！情報モラル 【プロフ・ブログ編】



岐阜県教育委員会 教育研修課

「プロフ」と「ブログ」の違いは説明できますか？情報モラル教育をしないではいけないと思っ
ていても、「教師である私よりも、子どもたちの方が詳しい」と感じている場合、どうしても指導
を敬遠しがちになるのも無理がありません。変化のスピードが速いネットの世界ですが、児童生徒
がよく活用しているサービスの基本的な知識は知っておきましょう。

【「プロフ」って何？】



「写真」

顔写真を載せない場合もあるが、多くの場合は自分のお気に入りの写真を載せる。一人でなく仲良しグループで撮った写真を載せる場合も多い。

「自己紹介」

「誕生日」「性別」「血液型」「星座」に始まり、「好きな映画」「好きな食べ物」「マイブーム」などの項目について、自分らしさが表現できるように記載する。すべての項目に記載すると、50項目以上になることもある。

「アルバム」 「リンク」 「ミニメール」

プロフの終末には、自分のお気に入りの写真を公開できるアルバム機能や、気に入っているブログやHPへのリンクが掲載されていることもある。

また、プロフを見た人が「ミニメール」とよばれる簡単なコメントをプロフ作成者に送る機能もあることが多い。

プロフ

主に携帯電話で利用されている自分のプロフィールのページを作成できるサービス。「プロフィール」を略した言葉。あらかじめ用意された項目に答えて(入力して)いくだけで、簡単に自分の紹介ページが作成できる。プロフのホームページアドレスを教えるなどの方法により、名刺交換の感覚で自己紹介をする。



「自分の個人情報をもやみに公開すると危険である」という知識がある児童生徒は、実名や住所などの掲載を控えて作成をしている。しかし、誕生日や好きな歌手などについては、正直で具体的な内容の情報を掲載している。

そもそもプロフはネット上で自分らしさを表現したい、こんな自分に興味をもつ人と交流したいという目的で作成するものなので、虚偽やあいまいな情報ばかりでは作成する意味をなさないからである。

個人情報の記載を控えても、「よく行くお店」「家の周りの様子」「通学手段」などの間接的な情報や交流している仲間からの情報を複数組み合わせると、学校名や地域などが類推でき、最終的には個人を特定できうる情報になることも多い。

また、「実名」「住所」「学校名」「学級」「出席番号」「部活動」などの情報がそのまま記載されているプロフも少なくない。

【「ブログ」って何?】



「日記」・「評論」

今日あったできごとや自分が感じたことなどを日記風に掲載する。

「添付写真」

携帯電話等で撮影した写真を簡単にブログに掲載することができる。

「トラックバック」

他人のブログへリンクを張った際に、リンク先の相手に対して、そのことを自動に通知する機能。
逆に自分の記事にリンクを張られた際には、自分のブログを参照しているページの一覧ができる。

「コメント」「返信」

掲載された記事に対して感想や意見などが書き込める。



ブログ

簡単に Web ページ上に日記や論評等を公開できるシステム。Web への記録 (= log) という意味の言葉 (Weblog) が短縮されて、ブログ (Blog) と呼ばれるようになった。PC で作成するほか、携帯電話からメールを送信するだけで情報掲載できるブログもあり、利用者が増加している。



自分でホームページを作成するのに比較すると、ブログは知識や技能をもたなくても容易に作成できる。一個人が簡単に自分の思いや考えを世界に発信できるのが、最大の魅力である。特に、日本ではそれぞれのブログへの投稿数 (更新数) が多く、自分のページを作成するとこまめに更新をする傾向にある。

性別ごとにみると、女子の利用率が高く、県内の女子高校生の過半数がネット上にブログやプロフなどのページをもっている調査結果がでている。

【SNSなど他のサービスとの関連】

「SNS」 (social networking service) ソーシャル・ネットワーキング・サービス

人と人とのつながりを促進・サポートする、コミュニティ型の会員制サービス。SNSの主な目的は「人と人とのコミュニケーション」である。友だちや知人との連絡や会話などの場、または同じ趣味や嗜好、住んでいる地域、出身校、友だちの友だちといった一度も出会ったことのない人たちと交流が始められる場ともなっている。

主な機能

・プロフィール (プロフ) ・日記 (ブログ) ・メッセージ送受信
・アルバム ・ゲーム ・アバター ・つぶやき ・動画投稿 など

SNSにおいてできることは多様化しており、ブログやプロフの機能を含んでいる。共同して行うゲームで知り合った人に自分のブログやプロフを紹介したり、写真を交換したりするなど、一つの機能の利用をきっかけに、他の様々なサービスを利用する場合が多い。



SNSは人と人がつながるコミュニティ社会の充実を目指すサービスで、企業が活用している例も増えている。しかし、情報モラルが身につけていない児童生徒が安易に利用して、様々なトラブルに巻き込まれる事例が報告されている。